

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2021年1月27日

上場会社名 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3658 URL https://corp.ebookjapan.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 将峰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 阿部 逸人 (TEL) 03 (3518) 9544
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	21,890	44.2	865	63.4	866	64.7	609	68.9
2020年3月期第3四半期	15,176	48.3	529	△18.6	526	△18.8	360	51.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第3四半期	108.17		106.31					
2020年3月期第3四半期	64.64		63.20					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,514	4,417	41.7
2020年3月期	8,971	3,800	42.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,383百万円 2020年3月期 3,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	31.6	950	19.8	950	19.5	650	19.3	115.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	5,711,500株	2020年3月期	5,704,600株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	80,470株	2020年3月期	80,470株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	5,630,240株	2020年3月期3Q	5,577,359株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、TDnetで2021年1月27日（水）に開示し、同日、当社ウェブサイトにて掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、厳しい状況が続いており、GoToキャンペーンなど景気対策が行われましたが、11月頃から第三波と呼ばれる感染拡大が発生するなど、依然として新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えておらず、景気の先行きは不透明な状態で推移しております。

出版業界においては、2020年上半期(1月～6月期)の紙の出版市場が前年比2.9%減の6,183億円、電子出版市場が同28.4%増の1,762億円となり、紙と電子を合算した出版市場は、同2.6%増の7,945億円で前年比プラス成長となりました。当社が主力と位置付ける電子コミックの推定販売額は同33.4%増の1,511億円となり、大きく伸長しております(出所:公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所「出版月報」2020年7月号)。

当社は、このような事業環境のもと、従業員等の安全と事業の拡大を両立すべく在宅勤務を中心とした働き方に移行し、引き続き、2016年6月に資本業務提携したヤフー株式会社(以下、ヤフー)との事業連携を積極的に推進しております。当社とヤフーが協力して運営する電子書籍販売サービス「ebookjapan」において、Yahoo! JAPANサービスとの連携施策を強化したほか、スマートフォン決済サービス「PayPay」と連携した大型キャンペーンを実施するなど、新規ユーザー獲得のためのマーケティング活動、既存ユーザー向けの販売促進活動を積極的に行ってまいりました。また、クロスメディア事業においても、「PayPayモール」をはじめヤフーグループの諸サービスとの連携を積極的に推進するとともに、サービス品質並びに顧客満足度の向上に努めました。

以上の取り組みを行った結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高21,890,603千円(前年同期比44.2%増)、営業利益865,076千円(前年同期比63.4%増)、経常利益866,973千円(前年同期比64.7%増)、四半期純利益は609,021千円(前年同期比68.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 電子書籍事業

当第3四半期累計期間は、当社とヤフーが協力して運営する電子書籍販売サービス「ebookjapan」において、「PayPay」と連携した大型キャンペーンを展開しました。ヤフーグループのEコマースサービスが一丸となって実施した「超PayPay祭」、グループのサービスを使えば使うほどお得になる「PayPaySTEP」のほか、年末年始においては各種販促企画を実施し、売上高の拡大に努めました。この他にサービスの認知度をあげるべく広告宣伝を強化し新規ユーザーの獲得に努めました。プロダクト面では、AIの更なる活用としてユーザーレビューから自動生成した「感情タグ」を実装するなど、ユーザー満足度の向上を図りました。

以上の結果から、当第3四半期累計期間の売上高は、16,920,630千円(前年同期比45.8%増)となりました。

② クロスメディア事業

当第3四半期累計期間は、引き続き「PayPayモール」や「Yahoo!ショッピング」をはじめとした大手ECモールにおける紙書籍のオンライン販売に注力しました。ヤフーグループを挙げた大規模セール「超PayPay祭」に参画したほか、年末の需要拡大に対応するため、さらに在庫の拡充等を図り、ユーザー満足度の向上と売上高の拡大に努めました。

以上の結果から、当第3四半期累計期間の売上高は、4,969,972千円(前年同期比39.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は、10,514,274千円(前事業年度末比1,542,417千円増)となりました。

総資産の内訳は、流動資産が9,139,369千円(同1,588,377千円増)、固定資産が1,374,904千円(同45,960千円減)であります。流動資産増加の主たる要因は、売掛金が997,630千円、現金及び預金が197,161千円及び流動資産その他が392,545千円増加したことによるものです。固定資産減少の主たる要因は、ソフトウェアが22,839千円減少したことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、6,097,116千円(同925,767千円増)となりました。主たる要因は、未払金が519,578千円、買掛金が488,081千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、4,417,158千円(同616,649千円増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期の業績予想につきましては、2020年10月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,406,876	4,604,037
売掛金	2,569,053	3,566,683
商品	756	1,502
仕掛品	96	164
貯蔵品	74	293
その他	574,189	966,734
貸倒引当金	△53	△46
流動資産合計	7,550,991	9,139,369
固定資産		
有形固定資産	233,917	215,438
無形固定資産		
ソフトウェア	774,906	752,066
その他	222	187
無形固定資産合計	775,129	752,254
投資その他の資産		
繰延税金資産	97,639	97,731
その他	314,179	309,480
投資その他の資産合計	411,818	407,211
固定資産合計	1,420,865	1,374,904
資産合計	8,971,857	10,514,274
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,188,890	3,676,972
1年内返済予定の長期借入金	60,000	—
未払金	1,209,249	1,728,827
未払法人税等	205,924	160,908
賞与引当金	—	82,076
役員賞与引当金	—	13,291
ポイント引当金	3,545	4,958
資産除去債務	—	45,421
その他	429,934	356,095
流動負債合計	5,097,544	6,068,550
固定負債		
資産除去債務	73,804	28,565
固定負債合計	73,804	28,565
負債合計	5,171,348	6,097,116

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	900,504	903,750
資本剰余金	1,186,136	1,189,383
利益剰余金	1,881,289	2,490,311
自己株式	△200,452	△200,452
株主資本合計	3,767,477	4,382,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	138	138
評価・換算差額等合計	138	138
新株予約権	32,892	34,027
純資産合計	3,800,508	4,417,158
負債純資産合計	8,971,857	10,514,274

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	15,176,423	21,890,603
売上原価	9,655,328	13,723,794
売上総利益	5,521,094	8,166,809
販売費及び一般管理費	4,991,540	7,301,733
営業利益	529,554	865,076
営業外収益		
受取利息	18	21
投資事業組合運用益	194	468
助成金収入	—	1,423
不要書籍売却益	115	—
自動販売機収入	291	22
その他	2	216
営業外収益合計	622	2,151
営業外費用		
支払利息	353	105
為替差損	790	131
支払手数料	2,600	—
その他	—	16
営業外費用合計	3,744	254
経常利益	526,432	866,973
特別利益		
新株予約権戻入益	319	230
特別利益合計	319	230
税引前四半期純利益	526,751	867,204
法人税、住民税及び事業税	150,315	258,274
法人税等調整額	15,908	△91
法人税等合計	166,223	258,182
四半期純利益	360,528	609,021

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。